

上庄ひいらぎこども園 自己評価表 (令和5年度)

A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善を要する

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①園の保育方針を理解している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの目標や課題、子ども一人一人の発達など担任間でしっかりと話し合い、共有していくようにしていきたい。 ・一日一日の保育を振り返り、より良い保育が出来るように努めたい。
②園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている	B	
③担任間で話し合って、保育目標を立てている。	B	
④各年齢の発達段階に合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	B	
⑤自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	B	

2. 保育の内容

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①保育や生活の中で『ねらい』や『内容』が達成されるよう配慮している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの思いや要求を受け止め、子どもの気持ちに共感しながら、一人ひとりが自信と意欲を持てるように保育をしていきたい。 ・玩具の消毒を定期的に行い、子どもたちが安全に遊べるように環境整備を行っていく。 ・行事後、その都度職員間で話し合いを行い、反省を次に活かしていけるようにしている。
②子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	B	
③子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	B	
④身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握している。	B	
⑤保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	B	
⑥行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	B	
⑦特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

3. こども園の組織・役割分担

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①職場内で連携がとれている(連携をとるように努めている)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園全体を通して周知していくことは園内研修で伝えたり、職員間の連携を取りながらしっかりと情報を共有して保育へとつなげていきたい。
②研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	B	
③職員間で「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」ができています。	B	
④職場の中で自分の役割を自覚している。	B	
⑤保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案を出している。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者に安心してもらえるように職員間のコミュニケーションを取り、ほうれんそうを行っていくようにする。
⑥各職員は任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A	

内容	評価	改善目標・工夫している点など
⑦各職員は職員会などで必要と思う質問や意見を発言している。	C	・園内研修を通して研修の内容などを報告し、情報を共有していく。
⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達し、保育に生かしている。	B	・自分の意見や考えを発言し、分からないことは質問していく。

4. 家庭・地域社会

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①保護者に対して、丁寧な言葉使いと気持ちの良い対応を心がけている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には明るく元気に挨拶をし、笑顔での対応に心がけていきたい。 ・毎日会えない保護者には連絡帳を通してその日の子どもの様子や子どもの成長の姿などを丁寧に伝えていけるようにする。 ・関係機関との連携を図るなかで、伝達をこまめに行い情報交換をしていきたい。
②送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	B	
③保護者に子どもの伸びている所や課題を伝えるなど連携をとっている。	B	
④家庭との連携を図るように努めている。	B	
⑤家庭環境及び食事習慣等、園以外での子どもの状態を把握している。	B	
⑥地域や保護者の意見を保育等に反映している。	B	
⑦他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている	C	
⑧保護者により対応を変えていない。	A	

5. 事務管理・運用

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭は集まり次第すみやかに提出し、大切な情報や書類は守秘、保管を徹底していく。
②園内で知り得た事柄に対して守秘義務は徹底出来ている	A	
③金銭等を取り扱う場合、適切に処理出来ている。	A	

6. 総評

- ・成長には個人差や月齢差もあり、一人ひとりに合わせた援助の内容を心掛け保育を行った。
- ・1つの行事や活動が終わると「楽しかった」との声も聞かれ、行事を経て成長する姿が見られた。
- ・職員間でのコミュニケーションを行い、連携をとり、少しでも子どもたちや保護者の方々に寄り添っていけるようしたい。
- ・いろいろな経験をし、成功体験をしていく中で自分に自信をもっていくことが出来るような保育を心がけていきたい。
- ・給食を楽しみと感じられるように彩りや盛り付け、味付けを考えた献立を考えていきたい。
- ・ゆっくりと時間をとりながら、自分でできたという達成感や満足感が得られるように関わっていききたい。
- ・自分の保育を振り返り、子どもたちにとってより良い保育が出来ているのか見直しをしていき、保護者の方々が安心して子どもたちを預けていけるように心がけていきたい。
- ・子どもをもっと深く理解していきたいので、いろいろな方面から勉強していきたい。
- ・職員間での連携や声掛け、危険予測を心掛け、怪我防止に努めていきたい。
- ・子どもの理解のために、情報共有を大切にしていき、何でも共有できる雰囲気づくりにも努めていきたい。
- ・様々なツールを活用し、知識や技術を身に付けるようにし、保育に活かしていく。
- ・保護者との連携では子どもたちの様子や出来事をしっかりと伝えるように心がけた。今後も続けていきたい。